

英国の世界遺産都市バース (Bath)に小旅行

ロンドンから西に約 150km にある世界遺産都市バースに行ってきました。バースはローマ時代の温泉場として発展、1 世紀ごろにローマ人が到着し、英国の先住民であるケルト人が発見していた温泉場を一層発展させ、現在で言うスーパー銭湯を建て 4 世紀まで続いたと言われています。ローマ人撤退後は温泉場は廃れ、建物も朽ち果ててしまいました。

しかし、エイボン川沿いの美しい景色に魅せられ 16 世紀のエリザベス一世の時代に温泉場は復活し、特にジョージ一世、四世のジョージ王朝の時代（1714 年～1830 年）に保養地として再開発され、当時 1400 年前のローマ式浴場を見事に復活させ、地元で産出していた蜂蜜色の石灰岩を使ったジョージア様式の多くの建物が造られ蜂蜜色一色の美しい街並みとなりました。以来今日までその佇まいと街並みの美しさを保っている事とローマ式浴場の保全のが評価され、1987 年にユネスコ世界遺産としてバース市が登録されました。温泉の源泉は 3 ヶ所で、46℃の鉱泉湯が 100 万 L/日湧出しています。ローマ式浴場近くのホテルの浴場とサマー・バース・スパと言う複合浴場施設では入浴が可能となっています。

地名の **Bath** はアングロサクソン人が温泉を **Badam** と言いこれが変化して **Bath** になったとする説が有力ですが、英語の浴室 **bath** の語源が温泉地 **Bath** から来たと言う話は俗説として広まっています。ちなみに、バース市と大分県別府市は 1986 年から姉妹都市となっています。姉妹都市は英語で **Twin City** ですが、米語では **Sister City** と言われています。



エイボン川沿いに発展し美しい景観を保っているバース中心部（Web より）、第 2 次世界大戦時にドイツ軍の空襲によって多くの建物が破壊されたが、すべて以前の佇まいに再建された。



ロイヤルクレセントと呼ばれる三日月型テラスハウスと丘陵地の見事なテラスハウス群（Web より）



エイボン川と橋の上に店舗があるプルテニ橋



高級ブランド店が並ぶ中心部



サーカスと呼ばれる円形の公園沿いの
湾曲したテラスハウス



不思議な光景！サーメ・バース・スパの屋上大浴場
（Web より）



973年に初代イングランド王が
戴冠式を行ったバース寺院



16世紀、エリザベス一世の時代に復活した、ローマバース
ハウス温泉場の建物



ローマ式大浴場（現在は入浴できない）



源泉の一つで 46℃の温泉が湧出している



一世紀頃に暖房用に敷設されていたオリジナルの鉛配管と磨り減った床石